

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズスタジオ オリーブの木ST.3		
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日		～ 令和8年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日		～ 令和8年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童一人一人の性格や特性を丁寧に把握し、個別性の高い専門的支援を行っている。	個別支援計画に基づいて一貫性のある支援を提供している。土曜日の外出活動など、活動が固定化しないよう工夫したプログラムを実施している。	これまで評価されてきた個別性の高い支援を基盤によりより開かれた運営をしていく。
2	子供が安心感をもって通所でき、保護者からも信頼される支援体制が整っている。	写真やコメントを用いた丁寧な情報共有により、保護者との共通理解を深めている。	安心できる環境作りを基盤としながら、保護者・家族との連携や情報発信の充実を図り、より開かれた事業所運営を目指していく。
3	清潔で親しみやすい環境が作られ、活動の意欲につながっている。	整理整頓、掃除、換気等徹底させている。 利用児童一人一人が片付けやすい環境を整えている。	引き続き清潔な環境を整えていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援（ペアレントトレーニング、保護者会等）や、兄弟支援について「わからない」との回答が一定数みられる。	開所して約半年。日常支援を優先する中でまだ家族支援、兄弟支援に取り組みしていない。	小規模、任意参加型から段階的に機会を設けていく。
2	地域交流について、実施状況が十分に伝わっていない。	実施している取り組みがあっても、周知方法が限定的で、保護者に十分に伝わっていない可能性がある。	地域交流や外部連携について、目的や実施有無を通信等でわかりやすく発信する。
3	非常時対応や避難訓練の内容について、保護者への周知が十分とは言えない部分がある。	実施している取り組みがあっても、周知方法が限定的で、保護者に十分に伝わっていない可能性がある。	非常時対応や安全管理について、訓練実施の報告や資料配布等により可視化を進める。